

# 校長室便り

(文責)

ドー八  
日本人学校

校長  
酢谷昌義



委員会の発表や報告があります

## 高く泳げや！ 「鯉のぼり」

玄関前のポールに「鯉のぼり」を掲げました。鯉と吹き流しが別々になってはいますが、青い空を気持ちよさそうに泳いでいます。

ドー八日本人学校の子どもの健やかな成長を願って、5月5日まで揚げておきたいと思えます。



空に躍るや「鯉のぼり」

## ひとつの言葉を大切に

今朝は登校後「全校集会」を行いました。毎月第2・第4日曜日の朝に行くことになっています。

今日は「ひとつの言葉」という詩を紹介しました。児童生徒会執行部のみんなが、今年はいさつ運動だけでなく言葉遣いについても働きかけていきたいという方針を示しています。そういう取り組みを進めるために、言葉の持つ力の大きさを感じてもらいたいと考え話をしました。

詩の一行一行を紹介するたびに、多くの子ども達がうなずきながら真剣に聞いていました。誰にも思い当たることが書かれているので、この詩の持つメッセージがすんなりと子ども達に届いたのではないかと感じました。

低学年には言葉が難しいところがあったり、ドー八日本人学校の生活の中ではあまりピンとこない点もあったりしたようですが、最後まで良く聞いていました。



執行部の司会進行で行います

分かっていながらなかなか思うようにいかないことの1つが、この言葉遣いの問題です。子ども達の生活の中では、言葉が原因のトラブルが特に良く起こるものです。それだけに、1人1人が意識していかない限り簡単には変えていくことはできません。しかしトラブルが全くないのが良いわけでもありません。お互いの感情を交流し、トラブルを乗り越える経験も積まなければなりません。

話をしながら、聞いているみんなの表情をずっと見ていました。ドー八日本人学校の子供達は、この詩が呼びかけている「ひとつひとつの言葉を大切に、そして美しく」という願いを受け止め、きっと実践していかれると感じました。

「ひとつの言葉」

ひとつの言葉で喧嘩して  
 ひとつの言葉で仲直り  
 ひとつの言葉で頭が下がり  
 ひとつの言葉でいがみ合う  
 ひとつの言葉で涙を流し  
 ひとつの言葉で笑い合う

ひとつの言葉はそれぞれに  
 ひとつの心を持っていく

きれいな言葉は きれいな心  
 やさしい言葉は やさしい心

ひとつの言葉を大切に  
 ひとつの言葉を美しく

# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校校長  
酢谷昌義

持ち方や姿勢にも気をつけて

## 確かな学力のために

確かな学力を身につけるために、どうしても必要なことについて考えてみたいと思います。

学力を新しく身につけるためには、聞く力と読む力が基本になります。ですから、落ち着きのない子や最後までじっくりと聞くことができない子は、先生の説明や友達の意見などを正しく理解するのがひどく苦手です。また、読む力の貧しい子は、教科書の文章や問題を正しく読み取ることができません。

その点、読書好きの子は人の話を聞いたり、文章を読み取るための集中力は、メディア漬け(テレビやゲームに長時間を費やしている状態)になっている子と違って格段に優れています。

さらに、書く力のしっかりしている子は、獲得した学力を確実に定着させるための勉強=主として宿題や復習をちっとも面倒がらずにやってくることができます。



一生懸命練習しています

読む力が十分にある子でも、書く勉強を手抜きしている子はどうしても高い学力にはしていきません。聞いたり読んだりする力は、新しい学力を獲得する前提条件ですが、それだけでは確かな学力にはならないのです。よく知っている・よく分かっているというだけでは、まだ学力としてはおぼつかないものなのです。

書く力は学力を定着させる主要な手段です。書く勉強を



日々の積み重ねが大切です

おろそかにしては、確かな学力を手に入れることはできないと言っても良いと思います。この書く力は、書くことの積み重ねによってしか伸ばすことができません。

そこで気をつけたいことがあります。まず、ある程度強い筆圧で濃くしっかりとした字で、しかも大きめの字を書くことがとても大切です。マス目の大きさや罫線の幅に応じた大きさを考えると、学年が下がるほど大きな字になります。そういう字を書くため

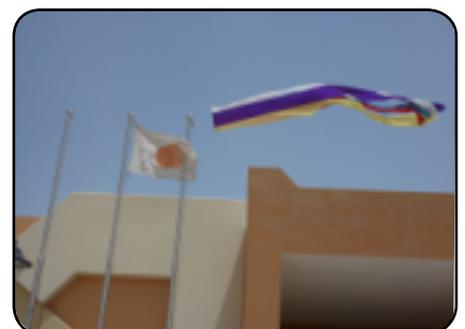
には鉛筆の持ち方も大切です。細かなことですが、こうしたことをていねいに押さえて進んでいくことがとても大切だと思います。

これは字を書く上での注意ですが、自分の思いを表現するための書く力はさらに重要になってきます。それについては別の機会に触れたいと思いますが、やはり書くことを通してしか伸ばすことができないのは同じなのです。

### たったの1日で…

今朝登校と同時に子ども達から「鯉のぼりは!？」と聞かれました。風が強い上に校舎の壁面に当たるので、1日で鯉のぼりが破れてしまいました。布が古く破れやすくなっていましたが、こんなに早く傷むとは思いませんでした。

何とか手を加えて、こどもの日までにはまた揚げられるようにしたいと思います。



吹き流しだけになっています

# 校長室便り

(文責)

ドー八  
日本人学校校長  
酢谷昌義

汚れ落としに集中しています

## 素晴らしい掃除態度

ドー八日本人学校の子も達が持つ素晴らしい点の1つに、掃除態度の良さがあげられます。これはどこの学校と比べても自慢できるほどだと私は思っています。

掃除の時間になると、それまでとてもにぎやかだった校舎が静かになります。時計を見なくても、子ども達の声が聞こえなくなったことで掃除の時間になったことがわかります。休み時間と掃除時間の切り替え・けじめがきちんとつけられるのはとても大切なことです。

掃除に集中して取り組むために、無駄なおしゃべりをしないようにみんなで気をつけています。また、担任の先生方はもちろん私やハザール先生・栗田さんまで、学校にいる全員が一緒になって掃除に取り組めます。わずか15分という短い時間ですが、ドー八日本人学校の全員が黙々と掃除に取り組んでいるこの時間は、とても素敵な時間では



みんな一生懸命掃除をしています

ないかと思えます。

毎週月曜日は、全校でホールの掃除をする日になっています。児童生徒数が増えたとはいえ、広い場所をきれいにするのはなかなか大変です。しかし、みんなが本気で取り組んでいるので、一通り拭き終わった後で汚れのひどい部分を重点的に拭く時間をつくることができています。掃除時間が終わるまで、床についた汚れを一生懸命落とそうと頑張っている姿は、いつ見ても素晴らしいと感心させられます。

掃除はみんなのためにあせを流す貴重な時間だと思えます。家事を含めた家庭内の労働がほとんど無くなってしまっている状況では、学校での掃除が唯一の場になっていることも考えられます。

今の社会は、子どもに生存のための力をつけるということに関してほとんど考えられていません。掃除は単に掃除ができるということにとどまらず、子どもが個人として生きていく上で非常に大切なことではないかと考えています。

学校はただ知識を学ぶだけの場ではありません。子ども達を社会化するために必要なことを、しっかりと指導していくことが必要ではないかと思えます。

### 表現できる良さ!!

1年生から4年生の図工の時間、みんなが粘土細工に夢中になっていました。それぞれに自分が表現したいものを持ち、それを素直に表現できることはとても大切です。

子ども達が生き生きと取り組んでいる姿が、とても印象的な図工の時間でした。



1～4年生：粘土細工に夢中

# 校長室便り

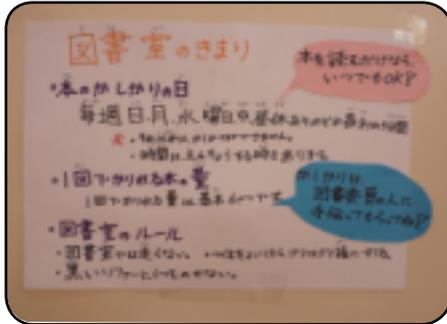
(文責)  
ドー八  
日本人学校  
校長  
酢谷昌義

## 自主的な取り組みへ

先日から「図書太郎委員会」のみんなが、休み時間になると図書室へ集まって作業をしていました。どんなことをしているのか見ていたら、本を分類してきれいに並べ替えたり「図書室のきまり」を考えたりしていました。委員会活動の時間に計画をしたことだと思いますが、休み時間を使ってまでみんなのために活動しているのには感心しました。

委員会活動というのは、このような自主的な活動が最も望ましい形です。みんなの生活をより良くしていくための活動を自分たちで考え、それを実践する時間を見つけ出して実際に活動していく。それが本来の委員会活動です。

図書太郎委員会は、「みんながたくさん本を読めるようにする」という目標を達成するために、いろいろと新しいことに挑戦しています。「今月のおすすめ本」の紹介もその1つです。小学部低学年・



掲示された「図書室のきまり」

中学年・高学年・中学部と、それぞれにおすすめの本を紹介しています。今月は低学年に「エルマーのぼうけん」、中学年に「窓ぎわのトットちゃん」、高学年に「モモ」、中学部に「世界史の謎と暗号」という本が選んでありました。この本の選定もよく考えられていると感じました。次はどんな本が紹介されるのだろうと楽しみになってきます。

こんなふうに自主的な委員会活動になると、活動そのものが楽しくなってきます。それがみんなの生活にも良い影響を与えていきます。これからの図書委員会と他の委員会の活動がとても楽しみです。



集まって作業をする図書委員



きれいに整とんされている本棚



「今月のおすすめ本」のコーナー

### 玄関を飾る ドー八日本人学校の なかま

玄関の掲示板に「ドー八日本人学校のなかま(自画像)」が掲示されました。図工・美術の時間を使って全員で取り組んだ作品です。

どの絵もみんなとてもよく描けています。それぞれに特徴を良くつかんでいて、一目で誰なのかが分かります。簡単な自己紹介の文もついていて、素晴らしい掲示物になりました。

これからしばらくは、玄関でこの絵がお客様をお迎えます。明日の参観日では、みんなの力作をじっくりとご覧いただきたいと思います。



ドー八日本人学校のなかま